

事業名 地域情報の共有・発信に向けて 地図の作成・活用を進める

実施団体 上京ちず部

ワークショップ「上京MAP妄想会議」を開催!

地図には、さまざまな人の「まちへの思い」や「目線」を定着することができ、地域・時を超えて共有することができます。地図を囲むと、地域に関わる発想が豊かに生まれます。



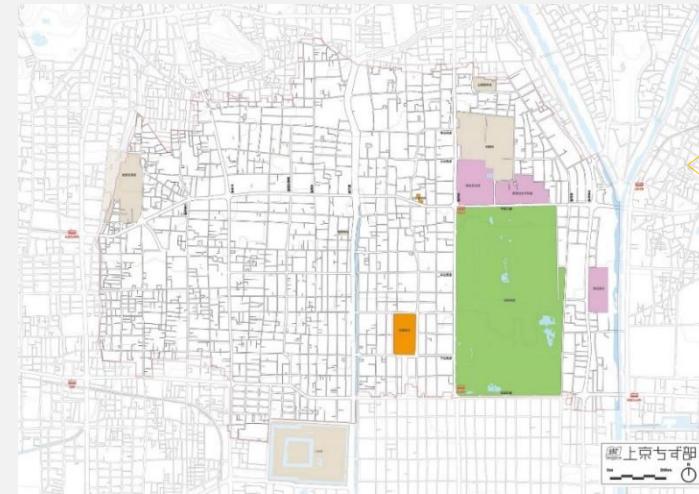
上京ちず部は「妄想会議」と題したワークショップを開催しました。
(詳細は「上京ちず部」サイトをご覧ください)
ここで出たアイデア(妄想)から、イベントマップや、上京区の歴史を感じられる地図づくり、まち歩きの企画…が参加者の間で動き出しています。

上京区内の各地で「発見型まち歩き」ガイドを実施!

まち歩きでも、地域での発見や驚き、その共有を大切にしています。ちず部メンバーがそれぞれの視点で、まちを案内します。限られた範囲の知識を伝えるタイプのガイドとはひと味違います。2018年度は、他団体(大学、アート系NPO…)からの依頼や共催で複数回、実施。(詳細は「上京ちず部」サイトで)



加工可能な白地図「上京OPENMAP」を制作!



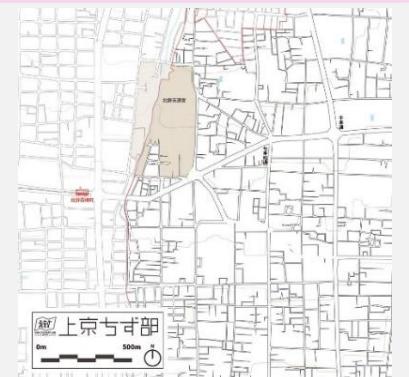
左記のワークショップをはじめ主催・参加事業の経験から、地域の多様な動き・情報・発想・アイデア…を手軽に載せて情報共有できる「加工可能な白地図」が必要と考え、制作しました

まちづくり、まち歩き、リサーチ、イベント、学区、町内会…

使う目的・エリアに応じて、地図を加工できるようにしました。掲載情報(道路・地点)を絞り込んだり、加えたり、表示の色や記号、雰囲気を変えることも可能です。地図の活用を目指す人やグループとの連携・協働を今後、進めていきます。気軽に相談・お声がけください



← 地図加工例 →



「上京ちず部」の発想と歩み

2017年3月23日発足

☆地域への関心は、人それぞれで複合的

ex 歴史、子どもの居場所、商店街、路地、町家、思い出、地蔵盆、夢
防災、友達、銭湯、カフェ、福祉、買い物、産業、地域振興、まち歩き etc.

しかし…

☆情報は通り過ぎ、消えてしまう…

どうすれば??

☆情報を一覧できるのは「地図」!!

でも…

☆紙上の地図は動かさない。

☆書き込めても各自の手元にとどまる。

そこで…

☆「まち」で、情報を更新できる地図を共有したい!

↓

☆「上京OPENMAP」を制作

(使うエリアや目的に応じて加工・編集できる白地図)

☆京のベンチャー企業「Stroly」の地図共有サービスを活用

↓

<https://stroly.com/>

↓

☆地域で活動する人たち・グループが

「地図をつくる」「まちで動く」

「地図を集める」…を通して、

ひとりひとりの発見・発想を

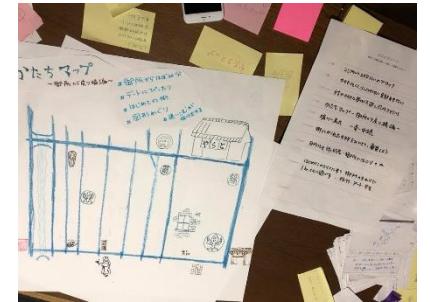
皆で共有し、深める!



こんなことも、やっています♪

☆地図をつくる

Stroly、京都精華大との協働で「地図づくりワークショップ」を開催しました(2018年6~9月)。まち歩きでのリサーチをもとに、地図を「使う人」と「作る人」が共に関わり仕上げていく実験的な取り組みです。



☆慣れた地域をいつもと違う視点で考えてみる

「あなたのイメージする『上京区』の範囲は?」

「あなたのイメージする『出町』の範囲は?」 etc.



地域イベントで「上京ちず部」コーナーを設け、訪れた人に尋ねています。白地図に色鉛筆で囲んでもらうと、地域へのイメージの違いや共通点が浮かび上がります。地域への愛着や思い出といった話題で盛り上がることも多いです。地域への人々の思いを知る・聴くきっかけになります。

☆まち・人の動きに関心のある人で地図を共有する(Strolyを活用)

サイトをチェック!



(2019年3月現在)

「上京ちず部」部員
石崎 立矢
南 知明
タナカユウヤ
関目 峻行
大武 千明
田村 祥代

<https://www.facebook.com/kamigyomappers/>